

PATAトラベルマート2017（マカオ）報告



去る、9月13日（水）から15日（金）の3日間にわたり、第40回目となるPATAトラベルマートがマカオのベネチアン・ホテルにて開催されました。参加国数／参加者数は、66カ国・地域より1,130名（セラーは37カ国・地域より460名、バイヤーは51カ国・地域より293名）に上り、期間中に行われたB2Bの総商談セッション数は13,000セッションに及びました。今回、日本からは（株）TBグローバルマーケティング・トラベル様がセラーとしてブースを出展された他、PATA日本支部では、数々の特典を享受できる「ホステッドバイヤー」の広報、勧誘活動を展開しました。なお、2018年トラベルマートは、9月12日（水）～14日（金）まで、マレーシアのランカウィにて開催される予定です。

PATA世界支部会議（Chapter Colloquium）及び理事会報告

トラベルマート終了後の9月16日には、同じくマカオにてPATA世界支部会議（PATA Chapter Colloquium）が開催され、日本（石樽顧問が出席）、タイ、マレーシア、シンガポール、韓国、台湾、中国、バングラデシュ、英国、フィンランド、インド、パキスタン、オーストラリア、ハワイ、グアム／マイクロネシア、サンディエゴ（USA）支部など16支部が集結し、以下のテーマをパネルディスカッション形式にて討論を行いました。

A) 最近の最大の問題は？

- 持続性（豪州）
- 教育（バングラデシュ）
- 査証（インド）
- 北朝鮮ミサイル（グアム）
- 文化歴史に関する旅行者の無知（マイクロネシア）

B) 本部支部関係は？

- 本部支部会費合同化（シンガポール）
- 官民合同とし、学生・若い層の会員を増やすべき／支部主導化（英国）
- PATA支部に対する本部の援助指導を進めるべき（グアム）
- Story Telling／観光のFood Waste 対策（バングラデシュ）



また、9月17日（日）には、PATA本部理事会が開催され、日本からは石樽顧問が出席されました。主な議題としては、Executive Board・Management 報告、各委員会報告、各カテゴリー会議報告（Destination/Government, Aviation, Industry 等）の他、PATA 基金（PATA Foundation）に関しては、プロ化し基金規模等拡大を目指す方向性につき報告があ

りました。また、今後の予定として、来年度PATA年次総会（PAS）が2018年5月17日～20日まで韓国の江陵（カンヌン）にて開催されることが正式決定しました。

ツーリズム EXPO ジャパン 2017 に PATA 会長が登壇

去る9月21日（木）から9月24日（日）まで東京ビッグサイトにて開催されたツーリズム EXPO ジャパン 2017 の期間中に開催されたフォーラム「アジア・ツーリズム・リーダーズ・フォーラム」において、パネルディスカッションのモデレーターとしてPATA会長のサラ・マシュー女史（トリップアドバイザー社/Head of Destination marketing APAC）が登壇しました。「持続可能なビジネス」というテーマのもと、「サステイナブル」な旅行・観光関連の事業運営とはどのようなものか、事業が地域の持続可能な成長や観光の持続的な発展にどのような形で貢献しているのか、「サステイナブル」であることと企業の成長をどのようにバランスするかなど、業界のリーダーたちが抱えている課題に焦点を当てて議論が行われました。

また、9月22日（金）15:00～16:00には、ツーリズム EXPO ジャパン 2017 会場内において、「エコツーリズムによる地域創生とDMO」というタイトルのもと、日本エコツーリズム協会理事・事務局長 辻野啓一氏をお迎えし、PATA 日本支部観光セミナーを開催しました。エコツーリズムとの歴史、現況、及び今後訪日旅行の一つのキーとなることが予想される日本でのエコツーリズムの展開、訪日旅行客の関心、参加状況（特に富裕層の関心）、エコツーリズムとDMOとの関係などを中心にお話頂き大変興味深い内容のセミナーとなりました。なお、辻野氏のプレゼンテーション資料は、[こちら](#)からご覧頂けます。

新会員の紹介

- **株式会社 JTB 総合研究所**（2017年7月3日入会）
〒105-0014 東京都港区芝 3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング 12F
代表者：代表取締役社長 野澤 肇
PATA 担当者：コンサルティング事業部コンサルティング第三部長 熊田 順一
TEL 03- 6722-0700 FAX 03- 6722-0753
URL <https://www.tourism.jp/>
ツーリズムの拡大と質の向上を基本ビジョンに、長年培った知見を活かすとともに、未来志向かつグローバルな視点で、ツーリズムと接点を持つ多種多様なビジネスの課題解決や必要な人材の育成を行い、豊かな暮らしと豊かな地域の実現を目指しています。
- **株式会社アダツアーズ・ジャパン**（2017年7月12日入会）
〒103-0007 中央区日本橋浜町 2-16-5 東味ビル
代表者：代表取締役社長 田村 朋也
PATA 担当者：同上
Tel: 03- 6661-7989 Fax: 03- 6661-9949
URL: <http://www.adda-tours.co.jp/compinfo.htm>
旅行業務を中心に多方面の事業を営む事を目的としております。

- 静岡ツーリズムビューロー（2017年8月23日入会）
〒422-8067 静岡県静岡市駿河区南町14-1 水の森ビル2F
代表者：ディレクター 府川 尚弘
PATA 担当者：リーダー 田村 史朗
Tel: 054-202-5595 Fax: 054-202-5597
静岡県全域のインバウンド（訪日外国人）観光戦略を担う静岡ツーリズムビューローは、観光庁が推進する「日本版DMO（観光地経営組織）」として、本年1月に静岡県観光協会内に設置された組織で、海外市場への営業や広報を通じ、県内各地の観光商品を流通させることを目的としています。

PATA 日本支部意見交換昼食会 Vol.13 のお知らせ

すでに御案内の通り、第13回目となる「昼食意見交換会」を以下の通り開催いたします。

- ◆【日時】2017年11月8日（水）12:00～14:00
- ◆【場所】ホテルグランドパレス 1階 「カトリア」
<http://www.grandpalace.co.jp/restaurant/cattleya.html>
- ◆【参加費】お一人様1,500円のご負担をお願いします。
差額は、PATA日本支部にて負担させていただきます。（領収書は事務局にて用意）
御参加ご希望の方は、11月2日（木）までに、事務局（koseki@patajapan.com）までお申し込み下さい。

PATA Student Chapter - 和歌山大学が訪問

旅行業界における人材育成を目的に、PATAでは”Student Chapter（学生支部）”なる支部を設けており、現在、世界中に18のStudent Chapterが加盟しております。日本では和歌山大学がPATA学生支部として加盟（会員生徒数：20名）しており、去る9月25日（月）に会長以下3名がPATA日本支部吉村会長のもとを訪れました。今後は、PATA ANNUAL SUMMIT（年次総会）やPTM（トラベルマート）開催時に同時開催される「Youth Forum」及び日本支部の活動への参加も希望しております。また、将来的には日本で「Youth Forum」を開きたいという希望を持ってご招待したいと考えております。

なお、去る9月に開催されたマカオにおけるトラベルマート時の「Youth Forum」では、約250名の学生支部会員が参加。”Enabling Travel & Managing a Complex Future”というテーマにてエア・アジア社の創業者であるトニー・フェルナンデスによる基調講演が行われました。Student Chapterに関する詳細は、以下をご覧ください。

<https://www.pata.org/chapters/student-chapters/#benefits>